

3分でわかる南アフリカワイン

<5>データで見る南アフリカワイン



MASUDA

South African WINE
～人と自然にやさしいワイン～

株式会社マスダ
southafricawine.jp

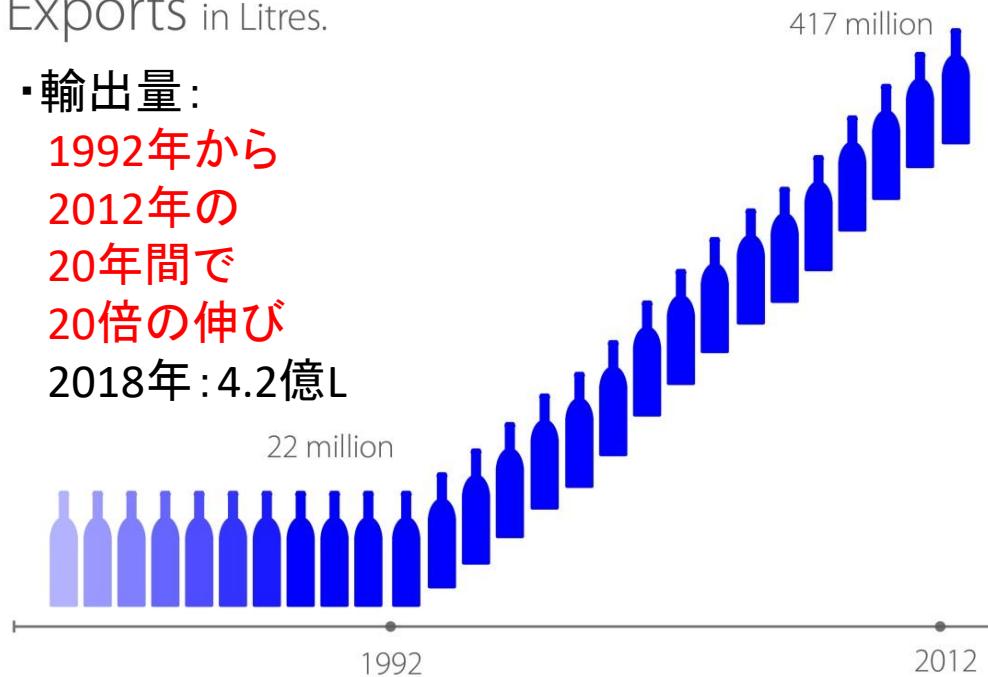


1. 基本データ

- 栽培面積92,000ha(2019年:減少傾向↓): ボルドー
- 生産量:9億7000万L(2019年): 世界第8位(世界シェア3.3%)
約半分弱は輸出へ

Exports in Litres.

- 輸出量:
1992年から
2012年の
20年間で
20倍の伸び
2018年:4.2億L



パッケージワイン輸出先(2018年):

- 1位:イギリス
- 2位:ドイツ
- 3位:オランダ
- 4位:スウェーデン
- 5位:アメリカ
- 6位:中国



- ・栽培面積の推移：栽培面積92,000ha(2019年：減少傾向↓)

	1992	2012	
栽培面積 HA	82844	100567	
白品種の割合	82%	55%	
赤品種の割合	18%	45%	

1994年の民主化とともに北半球への輸出が伸び、赤ワインの生産量が増加。

- ・ワイナリー：542(2018年) ステレンボシュ：168



- ・主要ブドウ品種栽培面積：白55%、赤45%



・**シュナンブラン**18.5%

(世界一の栽培面積&樹齢の古い物が多い)。

・**コロバール**11.6%

・**ソーヴィニヨンブラン**10.2%

・**シャルドネ**7.2%



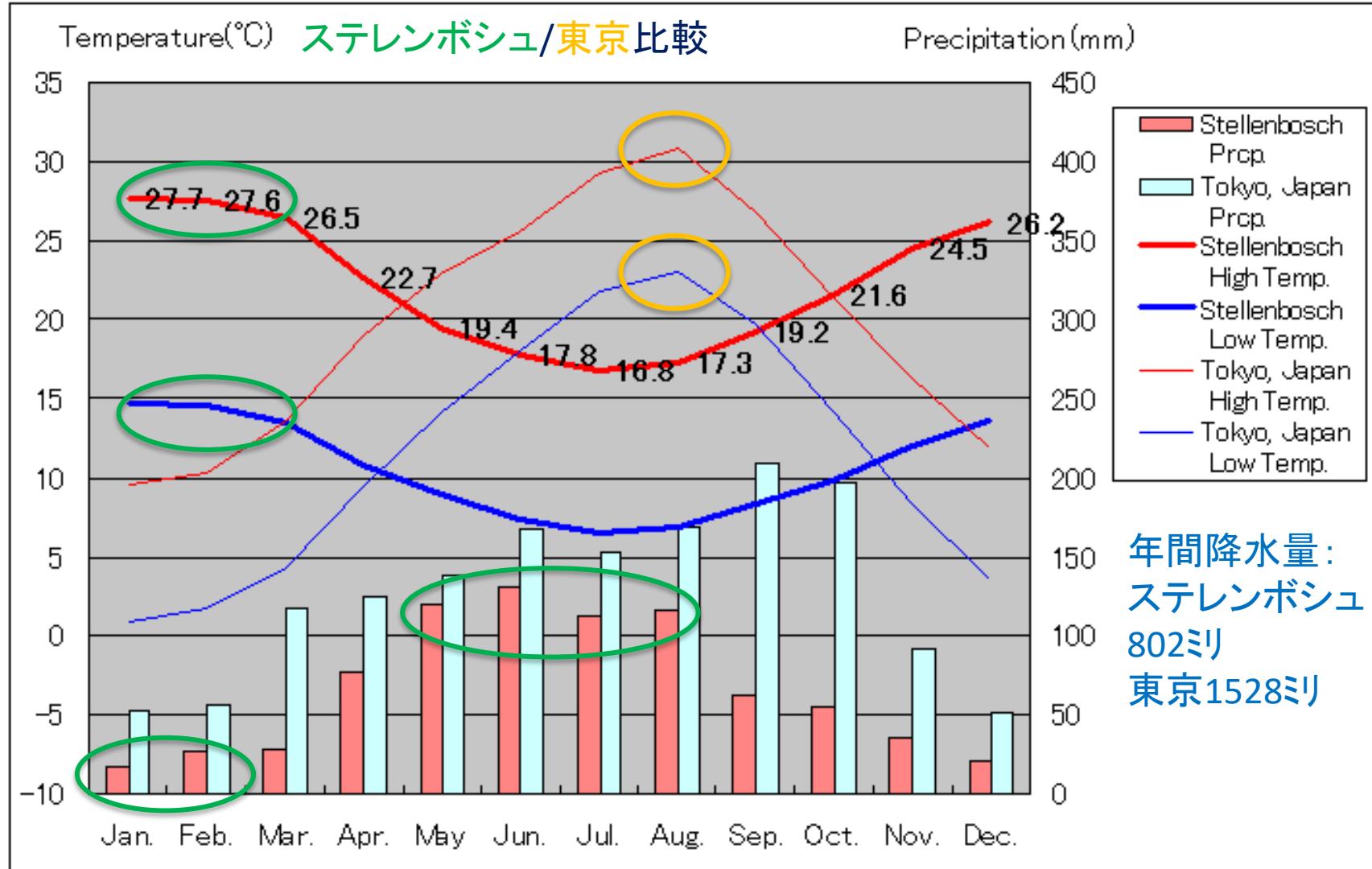
・**カベルネソーヴィニヨン**11%

・**シラー(ズ)**10.2%

・**ピノタージュ**7.3%

・**メルロ**5.8%。

・平均気温と降水量：地中海性気候：冬：涼しく降雨（5-8月）夏：暖かく乾燥（12-2月）



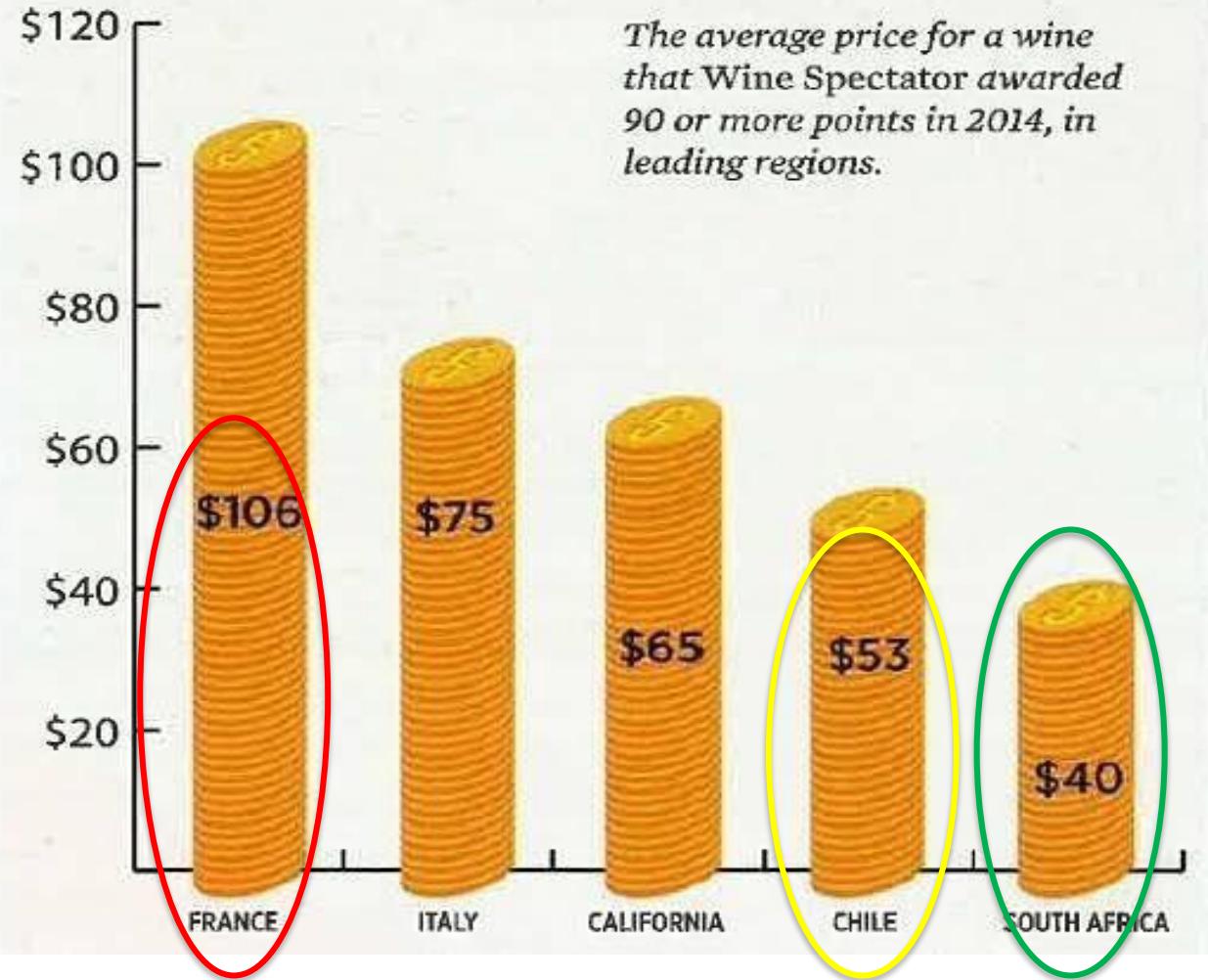


2. 南アフリカワインとは：「旧世界のエレガンス、新世界の果実味」

- (ワインショップ・ダイブトゥワイン(東京)社長談)
「フランスのクオリティ、イタリアのバリエーション、チリのコスパ」
- ボルドー ←ステレンボッシュ・ローヌ ←スワートランド
- ブルゴーニュ←エルギン、ヘメルアンアード・シャンパン←MCC
- ジャンシス・ロビンソン「世界一のコストパフォーマンス」
- ニール・マーティン「新世界で最もエキサイティングなワイン生産国」

2014年ワインスペクター90点以上のワインの国別平均価格

HOW MUCH DOES 90 COST?



世界一のコスパ
南アフリカワイン



「飲む人も作る人も幸せに」

Thank you!

株式会社マスダ
southafricawine.jp
[#ilovesawine_japan](#)



「南アフリカワインの魅力」
[@miyakeafrica](#)

＜参考文献/資料＞

Wines of South Africa

「南アフリカワインのすべて」田辺由美著

https://www.travel-zentech.jp/world/kion/South_Africa/Stellenbosch.htm

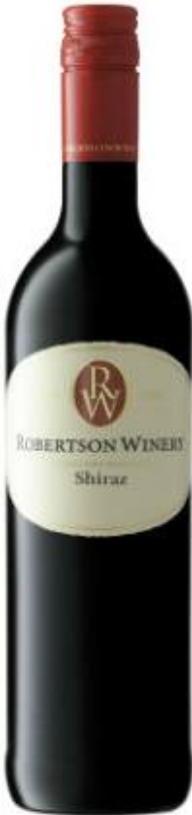
<https://weather.time-j.net/Climate/Chart/tokyo>

http://vinicuest.com/wine_articles/2015/01/tt-22-jan-2015.html

本日のおすすめワイン ロバートソン・シラーズ ¥1,350

ROBERTSON
WINERY
ESTD 1941

Robertson Shiraz



- 生産者: 南アフリカで**3番目**に大きなワイナリー
- 輸出: 世界**60**か国以上。
- 畑: **35**の農家と契約。
- 土壤: 石灰質が混ざった貢岩。
- 製法: フレンチ&一部アメリカンオークで熟成6-8ヶ月。
- 風味: レッドベリー、ブラックベリー、黒コショウ、シナモン等
- 味わい: ミディアム～フルボディ。柔らかな酸、心地良い渋み、リッチな果実味、なめらかなテイスト。料理は何でも合う万能型。

飲み飽きしないバランスと控え目感。チキンラーメンみたいなワイン